



2023年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ツナググループ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 米田 光宏  
(コード番号：6551 東証スタンダード)  
問合せ先 財務戦略室室長 沼畑 正輝  
(TEL. 03-3569-2790)

**連結業績および個別業績の前年実績との差異及び  
特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ**

2023年9月期の連結業績及び個別業績につきまして前期実績値との間に差異が生じた点、及び、特別損失(減損損失)を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 前年実績値との業績差異について

- (1) 2023年9月期の通期連結業績の前年実績値との差異  
(2022年10月1日～2023年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益
前期実績 (2022年9月期) (A)	百万円 12,721	百万円 215	百万円 213	百万円 491
当期実績 (B)	15,027	443	447	95
増減額 (B-A)	2,305	227	234	△395
増減率 (%)	18.1	105.7	110.0	△80.5
(ご参考) 前回発表予測 (2023年5月15日公表) (C)	14,700	400	400	
増減額 (B-C)	327	43	47	
増減率 (%)	2.2	10.8	11.9	

(2) 2022年9月期の通期個別業績の前年実績値との差異  
(2022年10月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (2022年9月期) (A)	百万円 1,414	百万円 12	百万円 110	百万円 441
当期実績 (B)	1,376	△30	78	△42
増減額 (B-A)	△38	△42	△31	△483
増減率 (%)	△2.7	—	△28.8	—

(3) 業績差異及び特別損失（減損損失）の計上について

2023年9月期の連結業績につきましては、経済活動の回復による企業側の人材需要が増加し、売上高・営業利益・経常利益については増収増益となりました。一方、のれんの減損による特別損失の計上により当期純利益については95百万円（前年同期比80.5%減）となりました。

2023年9月期の個別業績につきましては、2019年4月の持ち株会社体制に移行して以来、グループ全体の企業価値向上に向けた事業を展開しており、グループ経営体制の充実に向けた各種施策の実施等を行っておりますが、前年同期比較では売上高・営業利益・経常利益は減収減益、ソフトウェア資産の減損及び除却により特別損失を計上し、当期純利益は△42百万円（前年同期441百万円）となりました。

また、のれんの一部及び無形固定資産について、直近の事業動向や将来の回収可能性を慎重に検討し、監査法人と協議した結果「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失を196百万円計上いたしました。

詳細につきましては、本日開示しております2023年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）をご覧ください。

以上